



会長 菅原 慶一
幹事 小野寺 伸浩
会報 高田 次雄 村上 武彦
 森田 峯男
例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2667回例会 2018. 10. 25 No.16

本日の出席率

・本日の出席率 76.47%

ニコニコボックス

- ・山田正副会長 本日の高田次雄会員に代わってのゲストスピーカーのお話に御期待申し上げます。
- ・高田次雄会員 今日、高田のスピーチですが、皆さん方が良くご存知で特別な方をゲストスピーカーとしてお招きしておりますので、楽しみにして下さい。今夜は十三夜。満月・月見で一杯、いいですね、遠ちゃん!
- ・阿部泰彦会員 加藤慶太東松島副市長をお迎えして! 東部振興事務所時代は、東北風土マラソンや観光物産協会で、大変お世話になりました。
- ・布施孝之会員 本日のスピーチを楽しみに。
- ・飯塚仁哉会員 高田次雄会員の代理スピーチ、加藤慶太東松島副市長のお話、楽しみに聞きます。
- ・佐藤幸一会員 高田次雄会員に代ってのゲストスピーチ、現東松島市の副市長加藤慶太氏を大歓迎いたしますと共に、スピーチにご期待申し上げます。
- ・八谷郁夫会員 高田次雄会員、ゲスト招待ご苦労様です。
- ・佐藤敬喜会員 ゲストスピーカー東松島市副市長加藤慶太様をお迎えして。本日早退。
- ・菅原文之会員 本日のスピーカー、高田次雄会員の代理スピーカー東松島市副市長様を歓迎して。
- ・猪股育夫会員 ゲストスピーカー、加藤慶太様を歓迎申し上げます。東部地方振興事務所長在任中は大変お世話様でした。益々のご活躍をご祈念いたします。
- ・伊藤幸子会員 本日のスピーチ、大いに期待して。
- ・二階堂恭子会員 高田次雄会員のスピーチ担当、話題の多い高田会員、今日のお話楽しみです。
- ・小野寺伸浩幹事以下 ゲストスピーカーを歓迎して。村上武彦会員 佐々木崇会員 山田直志会員

佐竹孝行会員 佐藤静市会員 遠藤光則会員
 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員 熊谷敏明会員
 高橋利光会員 布施孝尚会員 岩淵栄市会員
 佐藤早智子会員 千葉正宏会員 加藤亮会員
 森田峯男会員 後藤和人会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 山田正副会長

本日は、会長不在により会長要件を代行させて頂きます。
 先週13日(土)、仕事で八甲田山荘ロープウェーまで参りました。ロープウェーの搭乗客は2時間待ちの混みようでしたが、山荘までの道中は、山頂へ近づくほど紅葉が鮮やかに色づいて気持ちが洗われる様でした。紅葉シーズン真盛りの東北では、中尊寺、巖美溪、鳴子峡など、訪日外国人の観光コースとなっており、「ここは外国か?」と勘違いする程、インバウンド御一行で一杯かと思いますが、皆さんも是非モミジ狩り等で、命の洗濯など如何でしょうか?
 先週の日曜日(10/14)、午後からホテルメトロポリタン盛岡でクラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕の3委員会合同研修会が有り、佐沼クラブからは私一名が出席して参りました。
 講師先生は、第2830地区八戸南ロータリークラブ所属の内科医で、国際ロータリー元理事の黒田正宏さんです。
 始めに「初期ロータリークラブの目的として、シカゴ・クラブ定款」を引用し説明があり、第1節には会員事業場の利益を促進するとあります。この様に「初期ロータリークラブの事業活動目的」は実に明快で、会員事業の成果が満たされる事で、奉仕活動に、より意欲的に取組み、現実的原動力を生み会員増強や支部設立など加速的な広がりにつながったと感じました。
 次に、黒田先生は「ロータリー標語」と題して、ロータリーは基本的に1つの人生哲学であり、他利

「他人の利益」と自利「自分の利益」の矛盾を和らげようとする「超我の奉仕哲学である」と説いております。ロータリーの基礎を築いた、アーサー・フレデリック・シェルトン氏は「最もよく奉仕する者は、最も多く報いられる」と実践的な倫理原則に基づく活動がロータリーであると述べております。

ロータリークラブ定款第5条には、「ロータリーの職業奉仕は、実践的な倫理活動であり、これらを哲学的に捉えてこそ、活動、意識高揚に繋がる。」と述べております。

次に重要なところですが、1927年R I 国際大会に於いてポール・ハリスは、ロータリーの奉仕理念は、哲学として「万古普遍」であり、永久に変えるべきではない。しかし、奉仕活動の実践は「常に社会のニーズに従って大胆に変化すべき」ものであり、「時代錯誤の奉仕活動は、誰からも頼りにされず相手にされない」と述べております。

ロータリーは、クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の3本柱で支えられ、更に「ローカルとグローバルが一体となり、持続可能な時代に、変化に富んだ活動の創出が重要である。」と講演を結んでおります。

今回の黒田先生は講演で「ロータリークラブとは、哲学的奉仕活動団体である」など、「活動意義の何たるかを」お示しいただきました。是非とも、今後の活動に生かして参りたいと感じました。貴重な時間でした。

幹事報告 小野寺伸浩幹事

- ・ボーイスカウト日本連盟より
ボーイスカウト運動への支援に対するお礼と、今後のお願について
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く。

各委員会報告

- ・国際奉仕委員会 (千葉正宏委員長)
ハンブルク国際大会が、来年6月1日~5日の日程で開催されます。詳細につきましては後程お知らせします。多くのご参加をお待ちしております。

今週のスピーチ (担当: 高田次雄会員)

「地域を将来につなぐ」(要旨)
東松島市副市長 加藤慶太様
 本日は、スピーカーとしてお招きいただき、お話をさせていただきますことを大変光栄に思っております。
 渥美巖東松島市長より「復興完結と地方創生に力を貸してほしい」と強い要請で、本年4月東松島市副市長に就任いたしました。
 県職員、自治省、気仙沼市副市長と色々な立場で仕事をして参りました。必要とされる所で仕事をさせていただけるということは、大変光栄に思っております。福沢諭吉の「文明論之概略」に「恰も一身にして二生を経るが如く」とありますが、県・国・市と三つの立場で仕事をやって参りましたので、この言葉は自分に合っているのではないかと感じております。
 東松島市は、東日本大震災では非常に大きな被害を受けました。最大浸水高10.35m、市街地の約65%が津波に飲み込まれ、これは被災3県で最大の浸水割合で

ございました。従いまして人口42,000~43,000人の街ですが、3%に当たる1,133人の人的被害、73%の家屋被害が生じました。

そんな中にあり、懸命の努力と国の支援で極めて迅速に復旧・復興が進んでおります。そして、「復興モデル市」「復興のトップランナー」を目指し、安全・安心の基盤づくりと住居再建、産業基盤の整備に取り組んでおります。既に完了済のものもありますが、まだのものは、今年度完了の予定です。

私が前におりました気仙沼市に比べ、非常に早い復興の進み具合です。この早期進捗の要因は、各市で困難を極めておりました震災ガレキの処理を、平成15年の北部連続地震の教訓を踏まえ、市民の皆さんのご協力を得て、最初から分別し迅速処理(97%リサイクル)したことにあります。その結果、他の市より約1年半早く処理することが出来ました。そのため他の復興事業にとりかかることが可能になりました。もう一つは、これも私が気仙沼市にいて非常に強く感じたことは、防災の最大のキーポイントは、コミュニティにあるということでした。被災した時に、いち早く立ち直る会社・団体・地域に共通していることは、日頃のコミュニティが良いという点です。仲の良い会社・組織、風通しの良い組織ほど次のことに取り組んでおります。これと同じことが東松島市で行われており、コミュニティ機能が発揮されました。その結果、平成24年から平成30年(毎年4月1日現在)まで、ほとんど人口が減少していません。

地域を将来につなぐ、最近の主な動きは(1)スマート防災エコタウン、(2)希望の大麦プロジェクト等被災元地活用農業振興、(3)子育て環境の充実、(4)全国市町村住みよさランキング「快適度」部門1位、(5)持続可能な未来都市全国29自治体選定、(6)宮城オルレ奥松島コースオープン、(7)2020東京オリンピック・パラリンピックで全国及び世界へアピール、(8)全寮制私立高等学校の誘致となっております。

色々な立場で仕事をしている中で、教え導かれた言葉がたくさんあります。その中で上司でありますが強く心に残っている言葉があります。

1. 山本壮一郎元宮城県知事
「耕不尽」(耕してもなおおききず)
 2. 自治省 (三愛主義)
「家族を愛し、仕事を愛し、地域を愛せ」
 3. 菅原茂気仙沼市長
「岐路に立った時は困難の道を選択すべき」
 4. 村井嘉浩宮城県知事
「真っ暗な中でも、その先にわずかな明かりがあれば歯をくいしばって頑張れると信じる」
- 紙面の都合上、要旨のみとさせていただきます。



スピーチをする加藤慶太東松島市副市長